

2025年7月15日

DICグラフィックス株式会社

業界最高水準のバイオマス度 50%を実現、バイオマス由来原料を高配合した

ハイブリッド型 UV インキ「BIOBRID®」を発売

—紙器パッケージの印刷におけるカーボンニュートラルと品質向上に貢献—

DICグラフィックス株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：甲斐敏幸）は、バイオマス由来原料を高配合したハイブリッド型 UV インキ「BIOBRID（バイオブリッド）」を発売しました。同製品は、バイオマス由来原料と UV インキ原料を融合させたバイオマス度 50%（当社調べ）の業界最高水準を誇るインキと、専用の UVOP ニスをセットにした製品です。従来の UV 印刷機でそのまま使用でき、紙器パッケージ印刷におけるカーボンニュートラルの実現に貢献します。



環境省は、「2050年カーボンニュートラルの実現」という政府の目標達成に向け、国や地方自治体が率先して環境物品等の調達を行うことを推進する「グリーン購入法」の運用強化や、民間企業や消費者の意識変革を推進する取り組みを進めています。これにより、官公庁や地方自治体から発注される印刷物において、バイオマスインキや植物油インキなどの環境配慮型インキの使用が求められるケースが増加しています。紙器パッケージを扱う印刷会社にとって、顧客ニーズに応えるためにも環境への配慮はますます重要になっています。

同製品は、環境対応への貢献に加え、印刷品質の向上にも貢献します。ハイブリッド型 UV インキ「BIOBRID」は塗膜の柔軟性が特徴で、紙の曲げ加工時に発生しやすいひび割れ（クラック）を抑制し、専用の UVOP ニス「DC BIOBRID OP ニス」は印刷物の擦れや汚れを防ぎます。これにより、従来のパッケージ印刷の課題であった製函時の罫割れを軽減し、意匠性の高いパッケージの作成が可能になります。また、従来の UV 印刷と同等の高い光沢を実現します。製品のカラーバリエーションは、プロセス 4C（CMYK）に加えて、金赤、耐性黄、耐性金赤、耐性紅、緑、紫、メジウム、白（白インキのバイオマス度は 30%）があります。

DIC グループは、地球環境と社会のサステナビリティ実現に貢献するため、サステナビリティ戦略を推進し、カーボンニュートラル社会の実現を目指しています。今後もサーキュラーエコミー（循環型経済）に適したサステナブルなパッケージソリューションを市場に提案し、持続可能な社会の実現に貢献する製品開発に注力していきます。

以上

【関連ウェブページ】

■ UV／高感度 UV インキ製品ページ（DICグラフィックス株式会社ウェブサイト）

<https://www.dic-graphics.co.jp/products/ink/ultraviolet/biobrid.html>

【お問い合わせ先】

部署名：DIC グラフィックス株式会社 事業企画開発グループ

連絡先：dicg-mm@ma.dic.co.jp

-DICグラフィックス株式会社について

事業内容：印刷インキ等の製造・販売

代表者：代表取締役 社長執行役員 甲斐 敏幸

所在地：〒103-8233 東京都中央区日本橋三丁目7番20号ディーアイシービル

設立：2009年10月1日

URL：<http://www.dic-graphics.co.jp>